

ベトナム株式市場の活用方法



《ベトナム株式市場の活用方法》

ベトナム株式市場の代表的な株価指数である VN 指数は 10 月 16 日に史上最高値 1,767 (終値ベース) ポイントまで上昇し、2024 年末比上昇率は 39% に達した。米国の関税政策が景気下押し圧力となる中で、年率 8% 近傍という世界トップクラスの実質 GDP 成長率が続いていること、10 月 7 日に FTSE ラッセルがベトナム株式市場のカテゴリーをフロンティア市場から新興市場セカンダリーへ格上げすることが決まったことが株価パフォーマンスを支えたとみられる。

しかし、格上げ決定後の VN 指数のパフォーマンスは悪化した。VN 指数の 11 月 7 日終値は 1,599 ポイントまで下落している。2025 年 8 月から顕著になった外国人投資家の売り越しや、格上げ決定によって買い越しに転じるのではないかという需給関係改善に対する期待が剥落したことがパフォーマンス悪化の原因の一つとみられる。ただし、忘れてはならないことは、ベトナム株式市場が、格上げによって、今後より多くの投資家に、資産運用の対象として検討されることになるという点である。中長期的な資産運用の観点から考えると、運用資産の一部を、世界屈指の GDP 成長率が見込める国に投資することは、投資戦略を立案するうえで極めて合理的なベトナム株式市場の活用方法となるだろう。

《ベトナム株式市場との付き合い方》

図表 1 はベトナム株式の時価総額上位 30 社の一覧である。表に掲載された 30 社合計の時価総額は 5,192 兆 VND(ベトナムドン)で、これは全体の時価総額約 8,000 兆 VND の 6 割超を占めており、一部の企業がもたらす VN 指数のパフォーマンスに対する影響がかなり大きくなることが想定される。

また、30 社合計の時価総額に占める業種別の割合は、銀行業が 44%、不動産業が 27%、製造業が 12% などとなっており、業種の偏りも大きい。VN 指数に投資すると、投資パフォーマンスが一部の銘柄や、銀行業や不動産業といった一部の業種の動向に大きな影響を受けるリスクがある。そのため、産業動向や経済成長のドライバーを見極めながら、ランキングされている 30 社以外の銘柄を含め、個別銘柄を選ぶこともパフォーマンス向上に必要だろう。中長期的なベトナム経済の成長を前提として VN 指数との連動を目指す投資戦略も一つの手だが、一定のリスクをとって、ベトナム経済の次世代をリードするような産業や企業への投資を検討することも意味のあることになるだろう。

こうしてみると、ベトナム株式投資のハードルが高いように思われる方があるかもしれない。これまでみたような先進国とは大きく異なる産業構造や株式市場の銘柄構成に加えて、政府主導の一方的な制度やルールの変更といったリスク、市場の値動きが一方通行になりやすいという流動性の問題など、警戒すべき点は他にもあり、決してハードルは低くないだろう。しかし、これらの問題は中長期的に時間が解決する可能性が高い。経済発展が進めば、民間の知見も高まり、より透明性の高い制度やルールの設計が期待できるし、株式市場の参加者が増えれば、新規上場や公募増資の増加などを通して流動性は加速度的に改善するだろう。現在のリスク要因は、中長期的な視点に立てば、パフォーマンスのサポート要因にもなりうるということだ。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20251111

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧説を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ベトナム株式市場の活用方法



図表1 ベトナム株時価総額の上位30社一覧

順位	ティッカ	銘柄名	業種	時価総額 (十億VND)	実績PER (倍)	年初来 トータルリターン (%)	弊社レポート の有無
1	VIC	ビングループ	不動産	769,447	83.9	392.5	有
2	VCB	ベトコンバンク	銀行	495,492	14.1	-2.1	有
3	VHM	ビンホームズ	不動産	377,882	14.5	130.0	有
4	BID	ベトナム投資開発商業銀行	銀行	263,301	9.9	1.0	有
5	CTG	ベトインバンク	銀行	263,130	7.9	30.7	無
6	TCB	テクコムバンク	銀行	233,846	10.6	37.4	無
7	VPB	VPバンク	銀行	218,183	10.6	47.1	無
8	HPG	ホアファットグループ	製造	199,946	13.9	17.3	有
9	MBB	軍隊商業銀行	銀行	187,681	7.7	42.2	有
10	FPT	FPT情報通信	IT	172,054	19.1	-23.2	有
11	GAS	ペトロベトナムガス	エネルギー	151,775	12.5	-1.9	有
12	LPB	LPバンク	銀行	147,273	14.2	69.8	無
13	VPL	ビンパール	不動産	128,221	-	-	無
14	ACB	アジアコマーシャル銀行	銀行	127,903	7.4	15.5	無
15	VNM	ビナミルク	製造	120,381	15.5	-1.5	有
16	TCX	テクコムバンク証券	証券	120,096	16.2	-	無
17	HDB	HDバンク	銀行	115,782	7.2	17.6	有
18	MWG	モバイルワールドインベストメント	小売	113,102	19.4	27.2	有
19	GVR	ベトナムラバーグループ	製造	111,200	17.8	-8.4	無
20	MSN	マッサングループ	製造	111,046	34.6	9.7	有
21	VJC	ベトジェットエア	運輸	96,407	61.3	78.0	有
22	HVN	ベトナム航空	運輸	94,590	10.1	34.6	無
23	STB	サコムバンク	銀行	91,150	7.4	31.0	無
24	BSR	ビンソン製油石化	エネルギー	79,867	38.6	13.0	無
25	VRE	ビンコムリテール	不動産	71,237	14.6	82.8	有
26	BCM	ベカメックスIDC	不動産	70,380	19.2	-4.1	無
27	SHB	サイゴンハノイ銀行	銀行	70,284	5.9	94.4	無
28	SSI	サイゴン証券	証券	68,401	17.6	29.7	有
29	VIB	ベトナム国際銀行	銀行	62,293	8.2	10.1	無
30	GEE	グレックス電気設備	製造	60,317	18.2	504.0	無
合計				5,192,666	-	-	-

注1 VPLは5月13日、TCXは10月21日に新規公開したので年初来トータルリターンは計算できない

注2 VPLの実績PERは計算できない

出所 Bloombergのデータをもとに当社作成

《ニュース証券のご紹介》

ニュース証券は2008年1月に日本で最も早くベトナム株の取り扱いを開始した証券会社であり、ベトナム株式の取引に関するノウハウ、30銘柄を超えるベトナム上場企業のフォロー・アップレポート(四半期毎)などにより、お客様のニーズにお応えできる体制を構築しております。また、10年を超えるベトナム株式市場での取引経験を有し、様々な局面で適切なアドバイスができる営業スタッフがおります。

世界的な株価上昇によってエントリーのタイミングについて不安を持たれているかと存じますが、個別銘柄の情報をもとにしっかりナビゲートさせていただきます。ぜひ、一度、ご面談の上、ベトナム株投資の魅力や効果についてお話をさせていただければと考えます。よろしくお願い申し上げます。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20251111

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧説を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。